



やちまた21  
林 政男

## 八街市の財政状況に合った市営住宅の整備を！

### 代表質問

#### 市営住宅について

**問** 八街市の平成22年度の一般会計当初予算のうち、扶助費の伸びは、前年度比54パーセント増の38億6千761万円となっている。そこで、民生問題のうち市営住宅について、入居状況はどうなっているのか伺う。

#### 市長

市営住宅の管理戸数は、平成21年12月末で452戸、入居戸数は386戸となっています。なお、建築後40年を経過している市営住宅については、老朽化が著しいことから公募は行っていません。

#### 問

本市の総世帯数に対する市営住宅戸数は近隣市町と比較して、どうなっているのか伺う。

#### 市長

八街市は63世帯に市営住宅1戸、それに対し、佐倉市は283世帯に1戸、成田市は179世帯に1戸、山武市は136世帯に1戸、四街道市は125世帯に1戸、酒々井町は2千206世帯に1戸の割合となっています。

#### 問

総世帯数に対する市営住宅の割合が近隣市町では1番高くなっ

ているが、八街市の財政状況を勘案すると、近隣市町の割合程度の戸数が望ましいと考える。そこで、耐用年数が過ぎていくことから、整備費用がかかる老朽化の著しい市営住宅に住んでいる方については、払い下げをいただいているか伺う。

#### 建設部長

払い下げを行う場合、入居者全員の同意がないとできません。以前、実住団地については、協議をしましたが、全員の同意が得られないために、払い下げには至らなかったという経緯があります。

#### 問

老朽化の著しい市営住宅については、入居制限をかけて、九十九路、長谷団地にだんだん集約していく必要があると考えるが如何か。

#### 建設部長

現在、8団地のうち、募集をかけているのは4団地です。九十九路、長谷団地については単身者の方の入居が無理であることから、朝陽、交進団地の入居募集をしています。

#### 生活保護について

**問** 昨今、新聞をはじめめとするメディアが

生活保護の不正受給を大きく報道している。八街市においては、生活保護の適正受給の確認はどのように対処しているのか伺う。

#### 市長

生活保護の手続きについては、申請書が提出された後、生活保護の受給要件を満たしているかどうかを把握するため、預貯金や保険、不動産などの資産の有無、扶養義務者による扶養の可否、年金など、社会保障給付、就労収入などについて書類審査とあわせ、世帯訪問調査を行うなどの事実確認をした上で、支給の要否を決定しています。支給決定後においても、被保護世帯の生活実態などを的確に把握し、保護の受給要件の検証、処遇方針に沿った指導援助を行うため、訪問計画を策定し、定期的な訪問調査活動を実施するとともに、被保護者の収入状況を客観的に把握するため、被保護者に対する課税状況を調査し、収入申告額との突合作業を実施しています。

#### 問

申請の段階で通過しても、実際の受給の段階できちんと調査を

すべきと考える。そのために今後、さらに増員をすべきと考えるが如何か。

#### 市民部長

ケースワーカー1人あたりの担当は80世帯となっています。現在も不況の影響で、生活保護受給者は増えていますので、増員については、要望していきたいと考えています。

#### 次世代育成支援地域行動計画について

#### 問

子ども連れでも出かけやすい場所づくりについて、どのような対策を行動計画に織り込むのか伺う。

#### 市長

小さなお子さんがいる保護者の方から、親子が自由に使える場所を確保してほしいとの要望が多く寄せられたことから、その要望に応えるため、総合保健福祉センターとスポーツプラザ体育館の一室を市役所の業務に支障がない範囲で開放しているほか、実住保育園と私立風の村保育園に設置している子育て支援センターでは、各種親子ふれあい行事を他の保育園と公立幼稚園では園庭開放をそれぞれ実施し

#### 庁舎案内について

#### 問

庁舎案内板を来庁者にもっとわかりやすくするには如何か。また、外国人にもわかる案内板の設置についても考えるべきと思うが如何か。

#### 市長

表示方法の工夫や外国人も含め、わかりやすい案内板の設置を考えています。新たに設置された案内板

